

高校地学プリント（過去問類似）

地球の歴史 No.1

名前

得点

/10

問1 地球の歴史において、約3万年前の気候区分として適切であり、マンモスが生息していた時期を何と呼ぶか。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. 新生代の温暖期 2. 全球凍結 3. 中生代の温暖期 4. 最後の氷期

問2 地球形成初期のマグマオーシャンが形成された主な要因として、最も適切なものはどれか。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. 微惑星の衝突による膨大なエネルギーの放出 2. 太陽からの放射エネルギーの急激な増大 3. 地球内部の放射性元素の崩壊熱による急激な加熱 4. 金属を主成分とする微惑星の集積による化学反応

問3 正断層と不整合が観察される地質構造の形成過程に関する説明として、最も適切なものはどれか。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. 石炭紀に形成された地層が逆断層の変位を受け、その後に不整合面が形成された。 2. 地殻の圧縮によって正断層が生じ、その後の堆積物との境界が不整合として残った。 3. 地殻の伸張によって正断層が生じ、その後の侵食を経て新第三紀に上位の地層が堆積した。 4. 不整合面は地層が連続的に堆積した証拠であり、その後に正断層が貫入して形成された。

問4 地球の歴史において、生物の出現時期を古い順に正しく並べたものはどれか。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. クックソニア、被子植物、リンボク 2. クックソニア、リンボク、被子植物 3. リンボク、クックソニア、被子植物 4. 被子植物、リンボク、クックソニア

問5 地質時代における生物の変遷に関する記述として、最も適切なものはどれか。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. リンボクは白亜紀に絶滅し、その直後にクックソニアが出現した。 2. 被子植物は古生代に出現し、石炭紀の森林形成に主要な役割を果たした。 3. クックソニアはシルル紀に出現した陸上植物であり、リンボクは石炭紀に繁栄した。 4. 被子植物はクックソニアよりも先に陸上で繁栄し、酸素濃度を上昇させた。

問6 原始地球の形成過程において、表面温度が著しく上昇した主な要因として最も適切なものを次の中から一つ選べ。 （2018年 全国公立入試 類似）

1. 微惑星の衝突による運動エネルギーの熱変換と、大気による温室効果 2. 太陽風の直撃による大気の大電離と、それに伴うプラズマの熱エネルギー 3. 地球内部の核融合反応による膨大なエネルギーの放出と伝導 4. 地球磁気圏の形成に伴う磁気エネルギーの急激な熱への変換

問7 マグマオーシャンが形成された主な要因として、最も適切なものはどれか。 （2018年 全国公立入試 類似）

1. 地球の自転速度の急激な変化による摩擦熱 2. 太陽からの放射エネルギーの急激な増大 3. 地球内部の水素とヘリウムの核融合反応 4. 微惑星の衝突エネルギーと大気の温室効果

問8 ある崖の断面において、下層に地層a、その直上に地層bが堆積している様子が観察された。地層の逆転が起きていないと判断できる場合、地層aと地層bの堆積時期に関する記述として正しいものはどれか。 （2016年 全国公立入試 類似）

1. 地層bは地層aよりも古い時期に堆積した 2. 地層aは地層bよりも古い時期に堆積した 3. 地層aと地層bは同じ時期に堆積した 4. 地層aと地層bの堆積時期を比較することは不可能である

問9 ある崖の断面において、堆積岩層A、B、Cがこの順に重なっており、火成岩Eがこれらすべてを貫いて存在し、さらに断層Fが堆積岩層A、B、Cおよび火成岩Eをすべて切断している。この地質構造の形成順序として正しいものはどれか。 （2016年 全国公立入試 類似）

1. 火成岩E→堆積岩層C→B→A→断層F 2. 断層F→火成岩E→堆積岩層C→B→A 3. 堆積岩層C→B→A→断層F→火成岩E 4. 堆積岩層A→B→C→火成岩E→断層F

問10 地球の誕生年代に関する記述として、最も適切なものはどれか。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. 地球の誕生年代は、地層の重なりからのみ決定され、絶対年代は不明である。 2. 地球の誕生から約38億年が経過した時点で、地球は初めて固体として形成された。 3. 地球の誕生は約46億年前とされ、これは太陽系形成の初期段階に相当する。 4. 地球の誕生年代は、3C330銀河団からの光の到達時間と直接的な因果関係がある。

問1 地球の誕生から現在までの経過年数として、地質学的に最も妥当な数値はどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 約46億年 2. 約38億年 3. 約54億年 4. 約62億年

問2 地質時代における生物の変遷に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 被子植物は古生代に出現し、石炭紀の森林形成に主要な役割を果たした。
2. クックソニアはシルル紀に出現した陸上植物であり、リンボクは石炭紀に繁栄した。
3. リンボクは白亜紀に絶滅し、その直後にクックソニアが出現した。
4. 被子植物はクックソニアよりも先に陸上で繁栄し、酸素濃度を上昇させた。

問3 地球の形成初期において、微惑星の衝突エネルギーによって表層が融解し、地球全体がマグマで覆われた状態を何と呼ぶか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. プレートテクトニクス 2. 原始地殻 3. マグマオーシャン 4. マントル対流

問4 地層の堆積順序を決定する際に、地層の逆転や不整合といった現象を考慮する必要がある理由は何か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 地層の厚さが堆積期間の長さをも直接的に示しているため
2. 地層の堆積速度は常に一定であると仮定できないため
3. 地層に含まれる化石の種類が堆積順序を決定する唯一の根拠であるため
4. 地層の重なりが必ずしも堆積順序をそのまま反映するとは限らないため

問5 原始地球の表面温度上昇に関する記述として、誤っているものを次の中から一つ選べ。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 微惑星の衝突は、地球の質量を増大させると同時に、衝突エネルギーを熱として供給した。
2. 地球内部で核融合反応が活発に起こることで、表面の温度が上昇しマグマオーシャンが形成された。
3. 原始大気による保温効果は、地球表面から放出される熱を宇宙空間へ逃げにくくする役割を果たした。
4. 微惑星の衝突頻度が高い時期には、衝突エネルギーの供給と大気の保温により、表面は高温に保たれていた。

問6 地球形成初期のマグマオーシャンが形成された主な要因として、最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 微惑星の衝突による膨大なエネルギーの放出
2. 太陽からの放射エネルギーの急激な増大
3. 地球内部の放射性元素の崩壊熱による急激な加熱
4. 金属を主成分とする微惑星の集積による化学反応

問7 堆積岩の層において、粒子が下部から上部に向かって次第に細くなっている構造を何と呼ぶか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 生痕化石 2. クロスラミナ 3. 漣痕 4. 級化層理

問8 地層の重なりと火成岩の貫入、および断層活動の前後関係に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 火成岩が地層を貫いている場合、火成岩の形成時期は貫かれた地層の堆積時期よりも古い。
2. 地層が断層によって切断されている場合、断層活動は地層の堆積よりも古い。
3. 断層が火成岩を切断している場合、断層活動は火成岩が貫入した時期よりも新しい。
4. 火成岩の貫入と断層活動の前後関係は、地層の堆積時期とは無関係に判断できない。

問9 地質断面において、下位の泥岩層が侵食を受けた後に、その上位に新第三紀の砂岩が堆積している境界を何と呼ぶか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 断層面 2. 不整合 3. 整合面 4. 貫入面

問10 地球の歴史において、約3万年前の気候区分として適切であり、マンモスが生息していた時期を何と呼ぶか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 最後の氷期 2. 全球凍結 3. 中生代の温暖期 4. 新生代の温暖期

問11 ある崖の断面において、堆積岩層A、B、Cがこの順に重なっており、火成岩Eがこれらすべてを貫いて存在し、さらに断層Fが堆積岩層A、B、Cおよび火成岩Eをすべて切断している。この地質構造の形成順序として正しいものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 堆積岩層C→B→A→断層F→火成岩E
2. 断層F→火成岩E→堆積岩層C→B→A
3. 堆積岩層A→B→C→火成岩E→断層F
4. 火成岩E→堆積岩層C→B→A→断層F

高校地学プリント（過去問類似）

地球の歴史 No.3

名前

得点

/11

問1 地層の重なりと火成岩の貫入、および断層活動の前後関係に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 火成岩が地層を貫いている場合、火成岩の形成時期は貫かれた地層の堆積時期よりも古い。 | 2. 火成岩の貫入と断層活動の前後関係は、地層の堆積時期とは無関係に判断できない。 | 3. 地層が断層によって切断されている場合、断層活動は地層の堆積よりも古い。 | 4. 断層が火成岩を切断している場合、断層活動は火成岩が貫入した時期よりも新しい。 |
|--|---|--|---|

問2 地層の重なりと地殻変動の形成時期に関する記述として、最も適切なものを選び。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--------------------------|--------------------------|---|
| 1. 火成岩が地層を貫いている場合、火成岩の形成時期は地層の堆積時期よりも新しい。 | 2. 褶曲構造は、地層が堆積する前に形成される。 | 3. 地層の重なりにおいて、上位の地層ほど古い。 | 4. 断層が地層を横切っている場合、断層の形成時期は地層の堆積時期よりも古い。 |
|---|--------------------------|--------------------------|---|

問3 正断層と不整合が観察される地質構造の形成過程に関する説明として、最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地殻の圧縮によって正断層が生じ、その後の堆積物との境界が不整合として残った。 | 2. 地殻の伸張によって正断層が生じ、その後の侵食を経て新第三紀に上位の地層が堆積した。 | 3. 石炭紀に形成された地層が逆断層の変位を受け、その後に不整合面が形成された。 | 4. 不整合面は地層が連続的に堆積した証拠であり、その後に正断層が貫入して形成された。 |
|---|--|--|---|

問4 地質断面において、下位の泥岩層が侵食を受けた後に、その上位に新第三紀の砂岩が堆積している境界を何と呼ぶか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 整合面 | 2. 断層面 | 3. 不整合 | 4. 貫入面 |
|--------|--------|--------|--------|

問5 堆積岩の層において、粒子が下部から上部に向かって次第に細くなっている構造を何と呼ぶか。（2020年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|-----------|-------|---------|
| 1. 生痕化石 | 2. クロスラミナ | 3. 漣痕 | 4. 級化層理 |
|---------|-----------|-------|---------|

問6 銀河系中心付近の天体から放たれた光が約3万年かけて地球に到達している状況において、その光が地球に到達した時期の環境として最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. マンモスが生息し、最後の氷期が進行していた。 | 2. 全球凍結により地球全体が氷に覆われていた。 | 3. オリオン大星雲の形成により気温が急上昇していた。 | 4. ママゼラン雲の影響で地球の磁場が消失していた。 |
|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問7 原始地球の表面温度上昇に関する記述として、誤っているものを次の中から一つ選べ。（2018年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 微惑星の衝突は、地球の質量を増大させると同時に、衝突エネルギーを熱として供給した。 | 2. 地球内部で核融合反応が活発に起こることで、表面の温度が上昇しマグマオーシャンが形成された。 | 3. 原始大気による保温効果は、地球表面から放出される熱を宇宙空間へ逃げにくくする役割を果たした。 | 4. 微惑星の衝突頻度が高い時期には、衝突エネルギーの供給と大気の保温により、表面は高温に保たれていた。 |
|--|--|---|--|

問8 原始地球の形成過程において、表面温度が著しく上昇した主な要因として最も適切なものを次の中から一つ選べ。（2018年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 地球内部の核融合反応による膨大なエネルギーの放出と伝導 | 2. 太陽風の直撃による大気の電離と、それに伴うプラズマの熱エネルギー | 3. 微惑星の衝突による運動エネルギーの熱変換と、大気による温室効果 | 4. 地球磁気圏の形成に伴う磁気エネルギーの急激な熱への変換 |
|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|

問9 原始地球の形成過程において、微惑星の衝突エネルギーや大気の温室効果により地表面の岩石が融解し、地球全体を覆った状態を何と呼ぶか。（2018年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-------------|---------|---------|
| 1. ホットスポット | 2. マグマオーシャン | 3. 原始大気 | 4. 地殻変動 |
|------------|-------------|---------|---------|

問10 地層が上下にずれた断層のうち、上盤が下方にずれる断層の名称として最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------|----------|--------|
| 1. 衝上断層 | 2. 逆断層 | 3. 横ずれ断層 | 4. 正断層 |
|---------|--------|----------|--------|

問11 地球形成初期のマグマオーシャンが形成された主な要因として、最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 微惑星の衝突による膨大なエネルギーの放出 | 2. 太陽からの放射エネルギーの急激な増大 | 3. 地球内部の放射性元素の崩壊熱による急激な加熱 | 4. 金属を主成分とする微惑星の集積による化学反応 |
|-------------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------------|

高校地学プリント（過去問類似）

地球の歴史 No.4

名前

得点

/10

問1 地層の堆積順序を決定する際に、地層の逆転や不整合といった現象を考慮する必要がある理由は何か。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 地層に含まれる化石の種類が堆積順序を決定する唯一の根拠であるため | 2. 地層の堆積速度は常に一定であると仮定できないため | 3. 地層の重なりが必ずしも堆積順序をそのまま反映するとは限らないため | 4. 地層の厚さが堆積期間の長さを直接的に示しているため |
|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|------------------------------|

問2 地層a、b、cがこの順で下から重なり、その上に不整合面を挟んで地層dが堆積している。さらに、これら全体が褶曲している場合、褶曲の形成時期として最も適切なものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 地層aの堆積時期よりも前である。 | 2. 地層cの堆積時期と同時である。 | 3. 地層dの堆積時期よりも前である。 | 4. 地層dの堆積時期よりも後である。 |
|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|

問3 地球の形成初期において、微惑星の衝突エネルギーによって表層が融解し、地球全体がマグマで覆われた状態を何と呼ぶか。

（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|---------|---------------|-----------|
| 1. マグマオーシャン | 2. 原始地殻 | 3. プレートテクトニクス | 4. マントル対流 |
|-------------|---------|---------------|-----------|

問4 太陽系内の他の惑星と比較した際、地球に原始の海が形成された理由として、最も妥当な説明はどれか。（2015年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 金星のように表面温度が極めて高いため、水蒸気が凝結せずに大気中に留まり続けたから。 | 2. 地球は太陽からの距離が適切であり、水が液体の状態で安定して存在できる温度環境にあったから。 | 3. 木星のように巨大なガス惑星であり、厚い氷の層が地表を覆うことで海が保護されたから。 | 4. 火星のように大気圧が極めて低いため、水が蒸発せずに地表に氷として蓄積されたから。 |
|--|--|--|---|

問5 地層の重なりに関する原則において、地層の逆転などの地殻変動が起きていないと仮定した場合、下位にある地層と上位にある地層の堆積時期の関係として最も適切なものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------------|
| 1. 下位の地層は上位の地層よりも後に堆積した | 2. 下位の地層は上位の地層よりも先に堆積した | 3. 下位の地層と上位の地層は同時に堆積した | 4. 下位の地層の堆積時期は上位の地層の堆積時期と無関係である |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------------|

問6 ある崖の断面において、下層に地層a、その直上に地層bが堆積している様子が観察された。地層の逆転が起きていないと判断できる場合、地層aと地層bの堆積時期に関する記述として正しいものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|
| 1. 地層aと地層bの堆積時期を比較することは不可能である | 2. 地層bは地層aよりも古い時期に堆積した | 3. 地層aと地層bは同じ時期に堆積した | 4. 地層aは地層bよりも古い時期に堆積した |
|-------------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|

問7 原始地球の形成過程において、微惑星の衝突エネルギーや大気の温室効果により地表面の岩石が融解し、地球全体を覆った状態を何と呼ぶか。（2018年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|------------|---------|---------|
| 1. マグマオーシャン | 2. ホットスポット | 3. 原始大気 | 4. 地殻変動 |
|-------------|------------|---------|---------|

問8 地層の重なりと地殻変動の形成時期に関する記述として、最も適切なものを選び。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|---|
| 1. 地層の重なりにおいて、上位の地層ほど古い。 | 2. 褶曲構造は、地層が堆積する前に形成される。 | 3. 火成岩が地層を貫いている場合、火成岩の形成時期は地層の堆積時期よりも新しい。 | 4. 断層が地層を横切っている場合、断層の形成時期は地層の堆積時期よりも古い。 |
|--------------------------|--------------------------|---|---|

問9 地球の原始の海が形成された過程として、最も適切な記述はどれか。（2015年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 彗星が地球に衝突した際に持ち込まれた氷が、そのままの状態で大気に留まり海となった。 | 2. 太陽からの放射エネルギーによって地表の岩石が融解し、液状のマグマが海となって蓄積された。 | 3. 大気中の水蒸気が冷却されて凝結し、大量の雨となって地表に降り注いだことで形成された。 | 4. 地球内部の火山活動によって放出された二酸化炭素が、高圧下で液化して海を形成した。 |
|--|---|---|---|

問10 銀河系中心付近の天体から放たれた光が約3万年かけて地球に到達している状況において、その光が地球に到達した時期の環境として最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 全球凍結により地球全体が氷に覆われていた。 | 2. マンモスが生息し、最後の氷期が進行していた。 | 3. オリオン大星雲の形成により気温が急上昇していた。 | 4. 大マゼラン雲の影響で地球の磁場が消失していた。 |
|--------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問1 地質時代における生物の変遷に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2020年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 被子植物はクックソニアよりも先に陸上で繁栄し、酸素濃度を上昇させた。 | 2. 被子植物は古生代に出現し、石炭紀の森林形成に主要な役割を果たした。 | 3. リンボクは白亜紀に絶滅し、その直後にクックソニアが出現した。 | 4. クックソニアはシルル紀に出現した陸上植物であり、リンボクは石炭紀に繁栄した。 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---|

問2 地層a、b、cがこの順で下から重なり、その上に不整合面を挟んで地層dが堆積している。さらに、これら全体が褶曲している場合、褶曲の形成時期として最も適切なものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 地層dの堆積時期よりも後である。 | 2. 地層cの堆積時期と同時である。 | 3. 地層dの堆積時期よりも前である。 | 4. 地層aの堆積時期よりも前である。 |
|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|

問3 ある崖の断面において、堆積岩層A、B、Cがこの順に重なっており、火成岩Eがこれらすべてを貫いて存在し、さらに断層Fが堆積岩層A、B、Cおよび火成岩Eをすべて切断している。この地質構造の形成順序として正しいものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 堆積岩層C→B→A→断層F→火成岩E | 2. 断層F→火成岩E→堆積岩層C→B→A | 3. 堆積岩層A→B→C→火成岩E→断層F | 4. 火成岩E→堆積岩層C→B→A→断層F |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|

問4 原始地球の形成過程において、微惑星の衝突エネルギーや大気の温室効果により地球表面の岩石が融解し、地球全体を覆った状態を何と呼ぶか。（2018年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-------------|---------|---------|
| 1. ホットスポット | 2. マグマオーシャン | 3. 原始大気 | 4. 地殻変動 |
|------------|-------------|---------|---------|

問5 地球の形成初期において、微惑星の衝突エネルギーによって表層が融解し、地球全体がマグマで覆われた状態を何と呼ぶか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|---------------|-------------|
| 1. マントル対流 | 2. 原始地殻 | 3. プレートテクトニクス | 4. マグマオーシャン |
|-----------|---------|---------------|-------------|

問6 銀河系中心付近の天体から放たれた光が約3万年かけて地球に到達している状況において、その光が地球に到達した時期の環境として最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. マンモスが生息し、最後の氷期が進行していた。 | 2. 全球凍結により地球全体が氷に覆われていた。 | 3. オリオン大星雲の形成により気温が急上昇していた。 | 4. マゼラン雲の影響で地球の磁場が消失していた。 |
|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|

問7 ある崖の断面において、下層に地層a、その直上に地層bが堆積している様子が観察された。地層の逆転が起きていないと判断できる場合、地層aと地層bの堆積時期に関する記述として正しいものはどれか。（2016年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------|------------------------|----------------------|-------------------------------|
| 1. 地層bは地層aよりも古い時期に堆積した | 2. 地層aは地層bよりも古い時期に堆積した | 3. 地層aと地層bは同じ時期に堆積した | 4. 地層aと地層bの堆積時期を比較することは不可能である |
|------------------------|------------------------|----------------------|-------------------------------|

問8 地球の歴史において、生物の出現時期を古い順に正しく並べたものはどれか。（2020年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. リンボク、クックソニア、被子植物 | 2. クックソニア、被子植物、リンボク | 3. クックソニア、リンボク、被子植物 | 4. 被子植物、リンボク、クックソニア |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|

問9 地球の誕生年代に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2017年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地球の誕生は約46億年前とされ、これは太陽系形成の初期段階に相当する。 | 2. 地球の誕生年代は、地層の重なりからのみ決定され、絶対年代は不明である。 | 3. 地球の誕生から約38億年が経過した時点で、地球は初めて固体として形成された。 | 4. 地球の誕生年代は、3C330銀河団からの光の到達時間と直接的な因果関係がある。 |
|--|--|---|--|

問10 ある地層において、級化層理が観察された。この構造から判断できる地層の性質として最も適切なものはどれか。（2020年 全国公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------|----------------------|--------------------------|-------------------------|
| 1. 粒子の大きさに関わらず堆積年代は一定である | 2. 粒子の粗い側が常に地層の上面である | 3. 級化層理は風成層でのみ形成される構造である | 4. 粒子の細くなる方向が地層の若い方向を示す |
|--------------------------|----------------------|--------------------------|-------------------------|